

一般公募用

市民の社会参加を支える

チカラ

2026年版

ボランティア
コーディネーション
検定

カ

実 施 要 項

3 級

検定日	開催地	申込締切
10月30日（金）	コープこうべ 住吉事務所 7階 会議室	9月17日（木）

※開催時間 ①直前研修 10:00～16:30 ②検定試験 17:00～18:00

※直前研修は会場での受講か動画視聴かを選択できます。（検定受験は会場のみ）

ボランティアコーディネーションカとは？

人々の価値観が多様化し、社会的な機能もより専門分化する現代。私たちの暮らしや仕事にとって“コーディネーション”の機能が不可欠になってきています。

市民の自発的な社会参加と継続的な活動を支える“ボランティアコーディネーション”のはたらきもその一つです。単にボランティアしたい人と受け入れたいニーズをつなぐという狭い意味だけでの機能ではなく、一人ひとりが市民社会づくりに参加し、さまざまな社会課題に対して、その力と可能性を発揮できるように支える役割は、いま私たちが暮らす社会のあらゆる場面で求められています。

私たち日本ボランティアコーディネーター協会では、この“市民の社会参加を支えるチカラ”と“異なる人・組織の協働を支えるチカラ”を「ボランティアコーディネーションカ（りょく）」と名づけ、次のように定義しました。

ボランティア活動を理解し意義を認め、その活動のプロセスで多様な人や組織が対等な関係でつながり、新たな力を生み出せるように調整することで、一人ひとりが市民社会づくりに参加することを可能にする力

このボランティアコーディネーションの重要性を多くの人に知っていただき、その力を身につけ、身近な地域社会や各自の所属する組織、その他幅広い市民活動の場面において発揮していただくために、「ボランティアコーディネーションカ検定」を実施します。



主催：認定特定非営利活動法人 日本ボランティアコーディネーター協会



共催：生活協同組合コープこうべ 地域活動推進部

受験資格

①と②の両方に該当する方 ※年齢は問いません

①a)b)c)のいずれかに該当している

- a) これまでにボランティア活動の経験がある
b) これまでに地域社会、組織（施設・機関、NPOなど）においてボランティアコーディネーションに関わった経験がある
c) ボランティアコーディネーションに関わる予定がある（具体的な内容を記載していただきます）

② 3級検定直前研修を修了している

同日会場で実施する、もしくはオンデマンドで動画配信する直前研修を受講することが検定試験受験の要件となります。ただし、過去に実施された同直前研修をすでに受講された場合には、希望により免除されます。※修了確認を行うため、受講時期と開催地を申込時にご入力ください。

日時・会場

検定日 直前研修： 2026年10月30日（金） 10:00～16:30
検定試験： 2026年10月30日（金） 17:00～18:00

会場： コープこうべ 住吉事務所 7階 大会議室

※オンデマンド受講について

試験2週間前から講義動画の視聴が可能になり、会場では試験のみを受けます。

直前研修・テキスト

① 研修カリキュラム（5時間）

- 1) 今、なぜ、ボランティアコーディネーションなのか？（公式テキスト序章）
2) ボランティアの理解（公式テキスト第1章）
3) ボランティアコーディネーションの理解（公式テキスト第2章）

② 公式テキスト

「ボランティアコーディネーションから市民の社会参加を支えるチカラ〜」（第3版）
日本ボランティアコーディネーター協会編集 早瀬昇・筒井のり子著
中央法規出版発行 2,860円（税抜2,600円）

出題程度・合格基準

出題形式	問題数	時間	出題程度	合格基準
択一式 筆記試験（4択）	50問	60分	公式テキストから90%以上を出題	70点以上（100点満点）

3級問題の例

問 「ボランティア活動」の説明として、適切な正誤の組み合わせを1つ選びなさい。

- A 自発的に行われるものは、すべて「ボランティア活動」と言ってよい
B 自発的だけでなく、人の役に立つことをする場合は、「ボランティア活動」の範疇にはいる
C 自分の家族が抱える問題解決から始めた活動であっても、その活動を広く一般に開くことで「ボランティア活動」になる
D 無償で行われる活動は、すべて「ボランティア活動」と言ってよい
① ○××× ② ××○× ③ ×○×○ ④ ××○○ 答え ②

問 ボランティアコーディネーションについての記述として、間違っているものを1つ選びなさい。

- A ボランティアコーディネーションとは、ニーズ（需要）にボランティア（供給）を適合させるテクニックのことである
B ボランティアコーディネーションは市民社会づくりを目的として行われる働きである
C ボランティアコーディネーションを行うには、ボランティアについての正しい理解や知識、情報が必要である
D ボランティアコーディネーションは市民社会づくりの様々なアプローチの中で、とくにボランティアに焦点をあてて取り組まれる
① A ② B ③ C ④ D 答え ①

※第1回検定の試験問題（2009年実施）を「ボランティアコーディネーション力検定」のWEBサイトに公開しています。出題傾向の参考にしてください。

受験料

12,860円（税込）

テキスト代 2,860円（税抜2,600円）検定試験料を含む

※すでにテキストをお持ちの場合の料金は、直前研修受講料と検定試験料の合算になります。ただし、直前研修では第3版を使用するため初版・第2版とは調査結果の数値等多少の違いがあることはご承知おきください。

定員（先着順）

40人

インターネットによる申込み

① 下記、二次元コードから申込フォームへアクセス



申し込みはこちらから

② 申込フォームに必要事項を入力し、送信する。

※検定料の入金について【郵便振り込みのみとなります】

口座番号=00920-9-103886

加入者名=コープこうべ 福祉ボランティア本部

※通信欄に必ず

「ボランティアコーディネーション力検定」とお書きください。

※振込み手数料は別途ご負担ください。

受験の流れ

申込み

〈申込締切日〉

3級 9月17日（木）

※先着順です

定員に達した場合はその時点で締切となります

入金

〈入金締切日〉

3級 9月25日（金）

受験票
テキスト

入金確認をもって正式な申込みとし、以下の期間内に受験票とテキスト、当日のご案内を発送します

3級 10月 5日（月）～9日（金）

直前研修
受講

3級 10月30日（金）

※オンデマンド受講は、試験2週間前を目途に視聴案内
※再受験の方や以前に直前研修を受講済みの方は、受講が免除されます

検定試験

3級 10月30日（金）

合否判定
結果通知

検定試験委員会において合否を判定し、1ヵ月以内に受験者に文書（郵便）で通知します。合格者には各級の『ボランティアコーディネーション力検定合格証』を発行します

合格者の声

きっかけは受験の前年に受講したコーディネーター基礎研修でした。ここで、ボランティアコーディネーションの重要性に気づき、もっと学びたいと思ったんです。

そうなるともちろん次は3級検定です。さっそく試験に申し込むと、公式テキストが届きました。テキストを読み進めると、これまでの経験でなんとなく感じていたことがスッと腑に落ちることがありました。

一方、良かれと思ってやっていたことが逆効果だったことも学びました。そして、検定試験では、直前研修があります。講師からは、雰囲気や熱意が伝わってきて、知識だけではなくコーディネーターとしてのマインドも学んだつもりです！

このボランティアコーディネーション力は、人と人との関わりではどこでも役に立つチカラだと感じています。（子育ても！）また、私自身を前に進めるチカラにもなっています！市民社会、共生社会に向けたみなさん自身の参加の力（の証）として、ぜひ受験されてはいかがでしょうか！！



佐賀県国際交流協会

矢富 明徳さん

合格者の声

大学生になってから空き時間を活用して、ボランティアに参加したり、資格を取ることに興味を持ちました。私は大学で、子ども食堂を運営するサークルに所属しています。

この検定に挑戦して、私は、ボランティアやボランティアコーディネーションへの理解が深まり、さらにボランティアへの参加意欲が高まりました。ボランティアコーディネーション力は、異なる人や組織が対等の関係でつながるサポートをする能力でもあります。ボランティアコーディネーションのスキルを身につければ、これから社会に出た時にも、あらゆる場面で活用できると思いました。

またよりよい地域や社会をつくるためには、市民一人一人が社会で起きている問題に目を向けて、主体的に行動することが大切だと学びました。私も、社会をつくる一員であることを自覚して、身近なところからボランティアの輪を広げていけたらいいと思います。



周南公立大学

福井 若夏さん



申込み上の注意点

- ① お身体の不自由な方で、受験方法に配慮が必要な場合は、検定事務局まで事前にご連絡ください（お早目をお願いします）。
- ② 以下の場合は受験することができません。
 - ・申込期日を過ぎて申込みが検定事務局に到着した場合
 - ・申込みが受付期間内であっても、書類または手続きに不備があった場合
 - ・申込みに際し、所定の方法で申込みをされていない場合

当日の注意点

直前研修、検定試験ともに原則として遅刻は認められません。公共交通機関の遅延など、やむを得ない事情があっても、直前研修は開始後30分、検定試験は開始後20分を過ぎた場合には入場できません。

キャンセル

- ① ご事情により受験料を期限内にお支払いいただけない場合は、事前に事務局までご連絡ください。
- ② 受験料振込後の申込みの取り消し、受験料・検定料の払い戻し、次回以降の検定試験への繰り越しは、主催者側に非がある場合を除いては、一切行いませんのでご了承ください。
- ③ 感染症等に罹患されたことによる取り消しについても②と同様の対応となります。
- ④ 荒天や自然災害、感染症の拡大等の事情によりやむなく検定及び直前研修を中止する場合にはテキスト代および事務手数料を差し引いた額を受験者が指定する口座に返金します。
※オンデマンドでの直前研修受講者については、動画の視聴を持って直前研修を修了扱いとし研修費分の返金は致しません。次回受験時には、希望者は直前研修を免除し受験することが可能です。
- ⑤ お申込み後にキャンセルされる場合には（入金前であっても）必ずご連絡ください。

研修動画（オンデマンド視聴の場合）

事前研修動画（講義）については、試験日の2週間前から視聴が可能になります。当該受験者には一斉にEメールで視聴用URLを送ります。

受験上の注意

- ① 次に該当する行為をした受験者は、その場で退場・失格とし、答案の採点はいたしません。また、不正行為等が合格認定後に判明した場合はその合格を取り消しとし、以後の受験をお断りする場合があります。
 - ・本人以外が受験する。
 - ・他の受験者に迷惑をかける。
 - ・試験監督の指示に従わない。
 - ・携帯電話やスマホなどを使用する（時計として使用することもできません）。
 - ・録音機器、カメラ、辞書、テキストなどを使用する。
 - ・その他不正行為。
- ② 受験後の試験問題の漏洩も不正行為とみなしますのでご注意ください。
- ③ 受験者の解答は公表いたしません。また、問題に関する質問には原則としてお答えできません。

可否結果発表

試験後1ヵ月を経過しても検定結果が届かない場合は、検定事務局へお問い合わせください。可否・採点・試験問題の内容に関するお問い合わせには一切お答えできません。

個人情報の取り扱いについて

検定事務局は、当該検定試験の申込によって取得した個人情報（住所、氏名、生まれ年、性別等、個人を識別、特定できるもの）を以下の目的にのみ使用し、他の目的で使用することはありません。

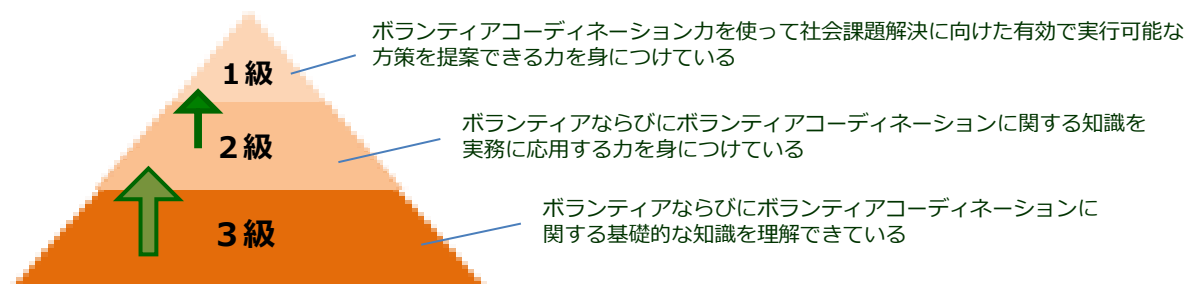
- ・受験票や試験結果の発送等、検定試験や研修に関わる連絡
- ・受験者の受験履歴の管理
- ・合格者名簿の管理

また、これ以外の目的に利用する場合は、ご本人（受験者）の同意を得た上で行います。

本検定試験をお申込みされた方は、この実施要項に記載されている全ての事項について、同意しているものとみなします。

ボランティアコーディネーション力検定の全体像

ボランティアコーディネーション力検定は、ボランティア活動やコーディネーションの経験がある皆さんに幅広く受けてほしい「3級」から始まり、実務を進める上でも役立つ「2級」、さらに包括的なボランティアコーディネーションの実践を目指す「1級」と、3つのレベルを設定しています。



2級

3級に合格したら、次は2級にチャレンジ！！

知識的な理解が中心の3級に合格したら、今度はボランティアコーディネーションの実務力を試す2級の受験に挑戦しませんか。仕事でコーディネーションをする役割にある方、団体のリーダー的な立場にある方などにもお薦めです。

詳しくはWEBサイトから https://jvca2001.org/vco_kentei/entry/

第32回検定日

直前研修（講義） 検定日までに動画を視聴
（演習） 2026年10月25日（日） 9:15～15:05
検定試験 2026年10月25日（日） 15:30～17:00
会場 大阪府社会福祉会館301（大阪市中央区谷町7-4-15）

第33回検定日

直前研修（講義） 検定日までに動画を視聴
（演習） 2026年11月15日（日） 9:15～15:05
検定試験 2026年11月15日（日） 15:30～17:00
会場 大学生協杉並会館（東京都杉並区和田3-30-22）

講義動画は、試験2週間前を目途に視聴案内。
直前研修（演習）と検定試験は同一会場で実施。

◆受験資格

下記の3つのすべてに該当する方 ※年齢は問いません

①3級検定に合格している

②これまでに地域社会、組織（施設・機関・NPOなど）においてボランティアコーディネーションに関わった経験がある

ボランティアの経験だけでなく、人や組織間の調整にあたり、つなぎ役をしたりなどの経験が必要です。業務には限らず、ボランティアな活動においての取り組みも含まれます。肩書きにも制約はありません。詳しくは3級検定で学ぶボランティアコーディネーションの事例などを参考にしてください。

③2級検定直前研修を修了している

検定日までに直前研修の講義動画を視聴し、検定同日に実施する直前研修の演習を受講することが検定試験受験の要件となります。ただし、過去に実施された同直前研修をすでに受講された場合には、希望により免除されます。

ボランティアコーディネーション力検定合格者数

	'09	'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23	'24	'25	合計
1級				21	13	12	10	7	7	9	11		9	6	5	6	7	123
2級		88	55	78	57	48	57	64	56	61	75	36	33	38	41	44	48	878
3級	339	338	422	350	401	601	525	537	420	532	545	375	313	315	377	352	333	7,075

2025年度の3級検定受験データ

	第42回			第43回			第44回			合計
開催地	東京	大阪	栃木	東京	大阪	岐阜	東京	大阪	福井	
受験者数	37	24	7	22	16	17	29	22	14	188人
合格者数	34	21	6	22	15	15	26	21	12	172人
合格率	91.9	87.5	85.7	100	93.8	88.2	89.7	95.5	85.7	91%

※主催検定のみの数字であり、各地の共催検定の結果は含まれておりません。

<ボランティアコーディネーション力検定試験委員会>

委員長	妻鹿 ふみ子
委員	青山 織衣（岸和田シティプロモーション推進協議会） 足立 陽子（淑徳大学 地域共生センター） 栗屋 浩（島根県） 岩井 俊宗（とちぎユースサポーターズネットワーク） 上田 英司（日本NPOセンター） 小原 宗一（北区社会福祉協議会） 鹿住 貴之（JUON(樹恩) NETWORK） 唐木 理恵子（袖ワックス） 後藤 麻理子（日本ボランティアコーディネーター協会） 佐藤 匠（至学館大学人間力開発センター） 垂井 加寿恵（神戸学院大学 ボランティア活動支援室） 土崎 雄祐（とちぎ市民協働研究会） 疋田 恵子（杉並区社会福祉協議会） 三田 響子 矢島 万理（国土緑化推進機構）

<主催> JVCA 認定特定非営利活動法人 日本ボランティアコーディネーター協会

2001年設立。ボランティアコーディネーターの専門性を確立し、社会的な認知を得るためのさまざまな取り組みをしてきました。毎年開催している多様なコーディネーション実践に携わる人々を対象とする全国集会や、基礎研修・実務研修の実施、全国への講師派遣、出版などを通して、多様な分野のボランティアコーディネーションに携わるスタッフたちに学びとネットワークづくりの場を提供しています。

● 共催（問合せ・申込先）



生活協同組合 コープこうべ 地域活動推進部

〒658-8555 神戸市東灘区住吉本町1丁目3-1 9

TEL：078-856-1212 FAX：078-856-1248（受付：平日・10:00～17:00）

Eメール：soshikis@kobe.coop.or.jp